

AREC・Fiiプラザ 第140回リレー講演会

IT（情報技術）分野

■日時：平成24年11月22日（木）15:00~18:10 ※講演会終了後、名刺交換交流会開催

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階（上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内）

【講演1】『オープン化するIT業界』

15:00~15:55

講師：信州大学工学部 情報工学科 准教授 アサノ デービッド 氏

概要 IT業界は大きな変化を何回も繰り返している。初期のころ、コンピュータは巨大なもので、専門家しか操作ができなかった。現在はコンピュータがポケットの中に入り、小学生でも操作ができるほど進化している。一方、コンピュータを動作させるためのソフトウェアも大きく変化している。コンピュータの操作とは逆に、ソフトウェアは複雑になり、開発や管理費が膨らんでいる。そのため、オープン化が進んでいる。本講演では、このオープン化とそれに伴う問題点について紹介する。

【講演2】『CAEを活用した県内企業への技術支援』

15:55~16:40

講師：長野県工業技術総合センター 材料技術部門 設計支援部 研究員 小杉 俊 氏

概要 近年の3次元CADの普及にとまらぬ、ものづくりの現場においてもCAEを活用した製品設計やトラブル対策への関心は高まっています。県工業技術総合センターにおいても、平成22年度にCAE関連設備の拡充を行い、県内企業が抱える技術課題の解決などにご活用いただいています。本講演では、製品開発・部品設計においてCAE技術が活用された具体的な事例を紹介するとともに、今後、企業現場の量産加工前プロセスにおいて、CAE技術をご利用頂くための取り組みについて紹介します。

--- 休憩 ---

【講演3】『モノづくり現場での動画マニュアル有効活用』

16:40~17:25

講師：アヴァシス株式会社 事業推進1部 マネージャー 降旗 公司 氏

概要 従来、日本のものづくりを支えてきたのは、現場での作業効率向上（改善活動）の追求や、“人から人へ”の技能伝承、技術教育でした。今日、産業社会の構造が大きく変化し、技能の伝承や技術の教育、作業の標準化は企業体質強化のために、業種を問わず早急に整備しなくてはならない経営の課題となっています。本講演では、『動画マニュアル』の必要性と、それを活用して、技術の教育とコスト削減を実現している企業の導入事例をご紹介します。

【講演4】『IT活用による地域支え合い福祉マップ』

17:25~18:10

講師：myExp コンソーシアム 代表 田玉 治寛 氏（アナハイム株式会社 代表取締役）
技術代表 中曽根 将人 氏（有限会社システック 代表取締役）

概要 myExp コンソーシアムは個人ユースのソフト開発・販売を行っています。本発表は平常時・災害時の地域の支え合い福祉をデジタルマップでシステム化する手法です。独自開発した多次元データベースで支え合いの仕組みを地図上にわかりやすく表記し、エクセル情報との地図データからのリンクも可能です。本システムは外部メモリーから直接起動しますので、災害時にパソコンを持出しての活用が可能です。顔が見える、手の届く、ぬくもりの感じられる範囲の小さなコミュニティーからの発信をサポートします。

主催：AREC・Fiiプラザ/財団法人上田繊維科学振興会 共催：公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛（上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内/☎0268-21-4377）

メール（mousikomi@arecplaza.jp）またはファックス（0268-21-4382）でお申し込みください。

AREC・Fiiプラザ 第140回リレー講演会 参加申込書		（平成24年11月22日）	
企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません